

1 基本的事項

評価基準	注 釈	判定
1 利用申込者又はその家族に対し重要事項の説明を行う際、重要事項説明書の他にパンフレットを用意するなど、わかりやすい説明に配慮していますか。	介護老人保健施設の趣旨（在宅復帰）を十分に説明し、質問等にも詳細に対応するよう徹底してください。	
2 施設見学やわかりやすい資料による説明など、利用申込者の利用決定の判断に役立つ配慮をしていますか。		
3 利用者との契約は契約書を作成して行っていますか。	あらかじめ、契約書（約款）により契約を結ぶことにより、契約関係の適正化を図るとともにサービスの利用に伴うトラブルを未然に防止することができるので、契約書を交わすことが望ましいです。 特に、痴呆性高齢者の場合、本人が意思表示できないこともあるので、成年後見制度や地域福祉権利擁護事業などを活用し、適正な契約を結ぶよう配慮することが必要です。	
4 利用者から契約を解除するための手続きが契約書等に規定されていますか。	不当に長い解約申出期間を設定して、事実上、利用者が契約を解約できないことのないようにしてください。	
5 利用者又は事業者から契約を解除することができる事由を定めていますか。	利用者から契約を解除することができる事由としては次のようなものがあります。 ○事業者が正当な理由なくサービスを実施しない場合 ○事業者が守秘義務に違反した場合 ○事業者が利用者又は家族の生命・身体・信用等を傷つけ、又は著しい不信行為を行う場合 事業者から契約を解除することができる事由としては次のようなものがあります。 ○利用者が一定期間以上利用料を滞納し、相当期間を定めた催告後も滞納している場合 ○利用者が事業者へ著しい不信行為を行う場合	
6 利用終了に際して、必要な情報の提供やアドバイスを利用者・家族にわかりやすく説明するとともに、次の事業者が選定された際には必要に応じ情報の提供等の連携・調整を図っていますか。	必要な情報やアドバイスには以下のものを含みます。 ○利用者の身体面・心理面の状態 ○生活上の留意点 ○介護の方法・留意点 ○サービスの再利用に関する情報 他の事業者への情報提供時には利用者・家族の同意を得るなどプライバシーに配慮してください。	
7 利用者・家族の苦情を受ける窓口があり、速やかに対応するシステムがありますか。 また、その苦情を迅速にサービスの改善につなげていますか。	以下に例示されるような工夫を行ってください。 ○利用者との懇談（話し合い）の機会を持ち、苦情・訴えを聞く。 ○トラブル等があった場合、担当職員ができるだけ早く話を聞くと共に、不満・訴えのある人と個別に話を聞く機会をもつ。 ○第三者に対する苦情の申し立てをできる体制になっている。 ○苦情に応じて、担当職員を交替させるなどの仕組みを持つ。	
8 利用者に関する情報を、適切に記録していますか。	以下に示すような工夫を行ってください。 ○利用者へのサービス提供を行う際に効率的な記録様式を事業者独自で作成する。 ○記入方法について統一的な指示を行う。 ○サービス提供記録、相談・情報提供に関する記録が、統一的に整理されるようにする。 ○データベース化などにより効率的かつ統一的な記録の整理がなされている。	
9 利用者の記録の保管方法を定めて、それを基に適切に記録を保管していますか。	記録の保管方法については、以下の点を定めてください。 ○記録の管理責任者 ○記録の保管期間 ○記録の保管場所 ○記録の開示ルール	
10 利用者の人権への配慮を行っていますか。	以下で示す項目等に留意して工夫を行ってください。 ○「権利」を成文化してパンフレットを作成し配布したり、機関・施設の利用者に目立つ場所に掲示する。 ○利用者に関わる情報の取扱いについて、細心の注意を払い、守秘に努めるよう職員に徹底されている。 ○利用者を「一個の人格」として尊重する教育を重視し、利用者の呼称等にも留意している。 ○痴呆性高齢者等の権利に関しても十分な配慮を行う。	

2 事業の管理・運営

評価基準	注 釈	判定
1 事業の理念や方針を明確にするともに、職員に徹底していますか。	事業理念や方針は文書として明文化し、職員の目につく場所に掲示する等、職員に周知徹底するよう努めてください。	
2 事業の理念・方針に基づいた事業の達成目標・計画（中・長期）を定めていますか。	事業計画は、事業の理念・方針に基づくとともに、 ①中期・長期の運営の方針、 ②職員採用・研修計画、 ③施設・設備計画、 ④事業経営の方針及び計画、 ⑤部門別計画（処遇の方針及び計画、行事計画、防災訓練計画等）等を網羅してください。 計画の策定にあたっては、職員の参加を得て行ってください。また、目標や計画は職員に徹底するとともに、定期的にその達成度を測り必要に応じて見直してください。	
3 当該事業の予算・決算が適正に策定され、また、運用されていますか。	以下の点に留意してください。 ○当該事業予算は、事業計画と調整をとり、具体的計画に基づいて積算されている。 ○当該事業予算は、適切な時期に、会計責任者、管理者において策定されるとともに、適切な機関（理事会等）において承認を受けている。 ○決算書の作成及び監査が適切に行われている。 ○当該事業予算について、閲覧の要請がある場合には、対応できる体制になっている。	
4 組織体制・管理体制が確立していますか。	以下の点に留意してください。 ○実態にあった組織図が作成されている。 ○職制、職務規程が定められている。	
5 職員の人事管理を適正に行っていますか。	以下の点に留意してください。 ○職員の資質向上を図るための人事方針が定められている。 ○人事考課が明確かつ客観的な基準により行われている。 ○職員の安全を確保するなど、各種の配慮がなされている。	
6 非常勤職員の処遇を適正に行っていますか。	非常勤職員の雇用にあたっては、労働基準法など他の関係法令を遵守し、適切に行ってください。	
7 職員研修について、研修体系を整備し、研修を計画的かつ定期的に行っていますか。	職員の資質向上を図るための研修は、専門性の付与、使命感の自覚、士気高揚といった面で効果があり、計画性を持って実施することが必要です。以下に例示される点に留意し、工夫を行ってください。 ○職員採用時研修、職場内研修を実施したり、都道府県や団体の行う研修計画を把握して、参加計画を立てている。 ○外部研修に職員が参加した場合には、報告会を行う等、他の職員に還元させるよう努めている。 ○外部研修だけでなく、事例研究会等の職員研修や勉強会が企画され、計画的に行われている。 ○職場内訓練（OJT）を、職場の状況に応じ、適切な方法で実施している。 ○痴呆性高齢者に対応するケア職員に専門教育をしている。（痴呆介護実務者研修、老健協の職員研修等を受講する。）	

評 価 基 準	注 釈	判定
<p>8 職員の調査研究の指導や研究発表を推進していますか。</p>	<p>職員の調査研究の推進は、研修の推進と同様に、専門性の向上、士気高揚、使命感の自覚といった面で効果があります。以下に例示される点に留意して工夫を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外部の学会、研究会等への参加を促進する。 ○調査研究の推進・指導体制を整備する。（研究会の定期的開催、外部講師・スーパーバイザーへの依頼等） ○施設内研究報告書、研究レポートを定期的に作成する。 ○外部との共同研究や各種研究費申請を促進する。 	
<p>9 ボランティアや地域住民を受け入れる機会を作っていますか。</p>	<p>以下に示すこと等を行い、工夫してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○担当者を明確にし、具体的な受入計画・研修・指導内容等のマニュアルを作成し、継続的な対応を行う。 ○地域のボランティアグループや住民組織とも連絡・連携を持ち、その実施状況を記録に取りまとめる。 	
<p>10 地域の医療機関との連携が適切に行われていますか。</p>	<p>以下の点に留意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○入所者の症状に応じて連携する医療機関がほぼ決まっている。 ○医療連携に関する部署か担当者が決まっており、手順が整備されている。 	

3 サービス提供体制

評価基準	注 釈	判定
1 施設サービス計画の作成に当たっては、利用者を事前に訪問し、本人や家族のニーズ、生活環境等を十分に把握していますか。	実施状況を評価し、必要に応じて、適切に変更を行ってください。また、可能な限り、居宅における生活への復帰についても念頭に置いてください。	
2 施設サービス計画を作成する際に、各種専門職の参加を得て行っていますか。	○介護職、看護職、医師、理学療法士、作業療法士等の参加を得てください。	
3 定期的又は必要に応じて利用者や家族から相談を受けたり、意見を聞く機会を設けていますか。	○面接によるほか、利用者等からの意見を連絡帳やアンケートなどを活用して収集している。 ○担当職員以外に、利用者等から意見を聞く担当者が定められている。	
4 家族に対する支援体制ができていますか。	以下に示すような工夫を行ってください。 ○家族に対する説明は医師、看護・介護職員等が資料を提示するなどにより的確に行い、十分な理解を得るようにしている。 ○在宅復帰促進のために、適時家族と利用者の相談に応じ、調整を行っている。	
5 サービスに関するマニュアル等を用意し、職員に徹底していますか。	マニュアル等の内容には、次の事項を盛り込んでください。 ○サービス利用者・家族へのサービスの説明と同意 ○職種ごとの業務分担 ○サービス内容の検討、決定、見直し ○個々のサービスの具体的な事前準備、作業手順、留意事項等 ○衛生管理、危険予防、非常時対応（利用者に事故や異常があった場合） ○記録の作成と保管	
6 定期的または必要に応じて、ケアカンファレンスを行っていますか。	○医師、看護・介護職員等あらゆる職種の職員が参加して、多角的なケース検討等を定期的実施してください。 ○報告がケース記録に記載され、会議録・研究会録等に保存され、さらに管理者まで報告がなされるしくみなどが重要となります。 また、ケアカンファレンスの際には、必要に応じて、スーパーバイザーをおいたり、利用者や家族の参加についても工夫してください。	
7 感染症予防のための必要な対策を講じていますか。	以下に例示されるような点に留意し、工夫を行ってください。 ○感染予防対策マニュアル（手洗いの励行、エプロン等の使用・着替え等）を作成したり、職員に対して研修を行っている。 ○感染症（予防）対策委員会を設置している。 ○サービス提供前に職員の健康状態をチェックし、必要な対応を行うとともに記録している。 ○感染予防に関する研修を行っている。 ○利用者・家族に対して感染予防に関する啓発普及を行っている。	
8 感染者に対して適切な対応がなされていますか。	以下に例示されるような点に留意し、工夫を行ってください。 ○感染者（例：かいせん・MRSA、結核、インフルエンザ等）に対する適切な処遇のために、マニュアルや対応事例集を作成している。 ○感染者に対する適切な対応法に関する研修を行っている。 ○入院治療の必要がある場合などを除き、感染者のサービス利用を拒まない。	

4 サービス提供内容

区分	評価基準	チェック項目	判定
利用者の生活自立への支援	1 利用者に対して排泄自立のための働きかけをしていますか。	<input type="checkbox"/> 尿意や便意のある利用者には、おむつをあてていても、ポータブルトイレやトイレで介助している。 <input type="checkbox"/> 精神機能の低下している利用者には、声かけ誘導し、トイレでの排泄をうながしている。 <input type="checkbox"/> おむつの種類も数多く準備し、無理なく段階をおって排泄自立の働きかけができるようにしている。 <input type="checkbox"/> 日中はできるだけおむつを使用しない配慮をしている。	
	2 寝たきり防止が徹底されていますか。	<input type="checkbox"/> 食事のときにはベット以外のところで食事をとるなど、寝・食分離が行われている。 <input type="checkbox"/> 日中は寝間着から日常着に着替えるようにしている。 <input type="checkbox"/> 本人の離床意欲をかきたてる工夫をしている。	
	3 一日の総臥床時間を減少させる努力がされていますか。	<input type="checkbox"/> 日中は休養程度の臥床にとどめている。 <input type="checkbox"/> 長時間の離床が困難な利用者でも、何度もベットと車椅子の移乗介助を行い、寝たきりにならないようにしている。	
	4 利用者の障害の形態により、自立生活のための自助具や補装具などが準備されていますか。	<input type="checkbox"/> 利用者の障害を正確に把握し、個々のレベルに応じた自助具や補装具を用意し、それぞれのレベルでの自立生活ができるように配慮している。 <input type="checkbox"/> 必要に応じてOTやPT等、専門職種との連携を図り、個別の対応、適した自助具・補装具の選択に努めている。 <input type="checkbox"/> 心身機能が低下した利用者にも使いこなすことができる自助具であるよう配慮している。 <input type="checkbox"/> 自助具等が使いこなせるよう、取り扱いについて、わかりやすく説明している。	
	5 金銭や貴重品は自己管理できるように配慮していますか。	<input type="checkbox"/> 個々の状態に応じた自己管理が可能なような工夫がされている。	
	6 利用者が居室以外でくつろげる場所がありますか。	<input type="checkbox"/> 家庭的な雰囲気の大ホールや談話室がある。 <input type="checkbox"/> 食事以外でも気軽に使えるような食堂の雰囲気に配慮している。 <input type="checkbox"/> 大ホールは多目的に利用することができるようになっている。 <input type="checkbox"/> 静かな雰囲気で書籍等を読むことができる。	
	7 気軽に買い物ができるようになっていますか。	<input type="checkbox"/> 施設内に売店や販売コーナーがある。 <input type="checkbox"/> 希望に応じて買い物に出かけることができる。	

区分	評価基準	チェック項目	判定
利用者の心身の状況や生活習慣等個別性に配慮	8 食事は美味しくたべられる工夫がされていますか。	<input type="checkbox"/> 食事の選択が可能になっている。 <input type="checkbox"/> 利用者に食事の内容についてアンケートを実施したり嗜好調査を実施している。 <input type="checkbox"/> 家庭の食事時間に近い時間に提供するとともに、本人の希望する時間にも配慮している。 <input type="checkbox"/> 食欲をそそるような盛りつけや色彩などに配慮している。 <input type="checkbox"/> 落ち着いて食べることのできる雰囲気作りを行っている。 <input type="checkbox"/> 食器に配慮している。 <input type="checkbox"/> 旬のものや地域の食材を利用している。	
	9 利用者に対する栄養管理が適切に行われていますか。	<input type="checkbox"/> 利用者個々の病状、健康状態に応じた食事を提供している。 <input type="checkbox"/> 利用者個々の咀嚼力、嚥下力に応じた食事を提供している。 <input type="checkbox"/> 食事摂取量のチェックができている。 <input type="checkbox"/> 検食記録が整理されており、味付け等について率直な意見が記載されている。 <input type="checkbox"/> 医師、看護・介護職員等と常時利用者の状況について連携を図り、要望等に配慮している。	
	10 食事介助は利用者の障害に応じた配慮がされていますか。	<input type="checkbox"/> 食事介助の時の人員を確保するように努めている。 <input type="checkbox"/> 障害に応じた自助具等を用意している。	
	11 希望があれば入浴あるいはシャワー浴ができますか。	<input type="checkbox"/> 入浴日以外でも、週に何度かは希望により入浴またはシャワー浴ができる。	
	12 浴室の環境が整えられた中で、入浴が行われていますか。	<input type="checkbox"/> 複数のタイプの浴槽が用意されている。 <input type="checkbox"/> ゆったり落ち着いて入浴ができるような雰囲気作りになっている。	
	13 入浴時の安全が確保されていますか。	<input type="checkbox"/> 転倒防止に配慮されている。 <input type="checkbox"/> 入浴介助に必要な人員を確保している。	
	14 深夜早朝のおむつ交換を工夫していますか。	<input type="checkbox"/> 深夜、早朝の交換では、安眠を妨げない配慮をしている。 <input type="checkbox"/> 排泄量が多く交換が必要な利用者や、訴えのある利用者には、いつでも実施している。	
	15 排泄記録が作成され、健康管理その他の面で活用されていますか。	<input type="checkbox"/> 個別の排泄記録が作成され、排尿・排便の状況が把握できる。 <input type="checkbox"/> 排泄物に異常がないか確認し記録している。	
	16 便秘の人に対して配慮していますか。	<input type="checkbox"/> 活動的な生活に配慮している。 <input type="checkbox"/> 栄養士とも連携し、食事面の配慮にもつなげている。	
	17 レクリエーション等のプログラムが用意されていますか。	<input type="checkbox"/> グループで行えるプログラムが複数ある。 <input type="checkbox"/> 個人にあったプログラムを用意して、自由に選択できるようにしている。 <input type="checkbox"/> 廃用防止のための取り組みがなされている。	
18 利用者がレクリエーション等に、積極的に参加できる工夫をしていますか。	<input type="checkbox"/> 趣味や興味に合った組み合わせで提供している。 <input type="checkbox"/> 個々の身体状況に合わせた場所や時間を設定している。 <input type="checkbox"/> 日常生活の中で、レクリエーションへの関心が高まるような働きかけをしている。 <input type="checkbox"/> レクリエーション活動を行う技術がある担当職員がいる。		

区分	評価基準	チェック項目	判定
2 利用者の 心身の 状況や 生活習慣 等個性に 配慮	19 個々人に合った整容が行われていますか。	<input type="checkbox"/> 髪型は一律ではなく、常に利用者の好みや希望を聞き、個性に配慮している。 <input type="checkbox"/> 希望に応じて理美容室を利用することができる。 <input type="checkbox"/> 爪や耳の手入れだけではなく、フットケアにも配慮している。	
	20 利用者の着衣に配慮していますか。	<input type="checkbox"/> 利用者の好みや習慣に応じ、自由に衣類の選択をしている。 <input type="checkbox"/> 意思の確認がとれない利用者にも、個性を尊重した着衣に配慮している。 <input type="checkbox"/> 障害に応じた衣類のリフォームを行っている。	
	21 酒や煙草を楽しめる環境に配慮していますか。	<input type="checkbox"/> 飲酒は、本人の健康状態を勘案し、他人の迷惑にならないように時間や場所を決めるなどして、楽しむようにしている。 <input type="checkbox"/> 煙草は、他人の迷惑にならないよう喫煙場所を設ける等している。 <input type="checkbox"/> 煙草の吸い殻を異食することがないように配慮している。	
	22 家族が宿泊したり利用したりできる部屋がありますか。	<input type="checkbox"/> 家族等と宿泊したり、一緒に過ごすことのできる部屋が用意されている。	
3 利用者の 人権・ 意志等 の尊重	23 居室やテイルームは、快適な生活を送ることのできる環境になっていますか。	<input type="checkbox"/> 家具の配置などに注意している。 <input type="checkbox"/> なじみの深いものを持ち込めるよう配慮している。 <input type="checkbox"/> 採光や照明に配慮している。	
	24 私物収納スペースは用意されていますか。	<input type="checkbox"/> 私物収納は、利用者のある程度の希望に添える広さがある。 <input type="checkbox"/> 金銭を保管する施錠できる棚などがベットサイドなど身近にある。	
	25 匂いの問題をなくすために工夫をしていますか。	<input type="checkbox"/> 脱臭設備が整っている。 <input type="checkbox"/> こまめに空気の入れ換えをするなど配慮している。	
	26 外部と通信しやすい工夫をしていますか。	<input type="checkbox"/> 公衆電話やベットサイドの電話の設備等について配慮している。	
	27 テレビや新聞、雑誌等から知りたい情報を自由に得ることができますか。	<input type="checkbox"/> 居室だけでなく、自由に見ることのできるテレビをロビー等に複数配置している。 <input type="checkbox"/> 自由に閲覧できる新聞や雑誌を多く取り揃えている。 <input type="checkbox"/> 視覚障害の利用者には、朗読や代読等で情報を提供している。	
	28 プライバシーが守られていますか。	<input type="checkbox"/> 個室以外の居室でも、プライバシーに配慮している。 <input type="checkbox"/> トイレや脱衣所を使用しているも、廊下から見えないように配慮している。 <input type="checkbox"/> 排泄介助時にカーテンを引く等、プライバシーに気を配っている。 <input type="checkbox"/> おむつ交換等の匂いに気を配っている。	
29 利用者とのコミュニケーションに配慮していますか。	<input type="checkbox"/> 日常会話の不足している利用者に対しても配慮している。 <input type="checkbox"/> 利用者の話に耳を傾けるようにしている。 <input type="checkbox"/> 障害に応じたコミュニケーションの手法を用いている。		
30 言葉使いは適切ですか。	<input type="checkbox"/> 自尊心を傷つける言葉を使用しないよう、常に配慮している。 <input type="checkbox"/> 職員がお互いに言葉使いを確認し合っている。		

区分	評価基準	チェック項目	判定
利用者 の人権・ 意志等 の尊重	31 会話等を行う場合、利用者のペースが守られていますか。	<input type="checkbox"/> 適切な声量、言葉の速度に注意している。 <input type="checkbox"/> いつでも手紙の代筆や代読を行っている。	
	32 痴呆性高齢者に対する医学的配慮が適切に行われていますか。	<input type="checkbox"/> 施設の利用について「痴呆性老人の日常生活自立度」の基づいて、対象者を適切に利用させている。 <input type="checkbox"/> 痴呆の病態等の把握、各利用者ごとに看護・介護サービスを計画的に実施するため、定期的に医師、看護・介護職員等によるケアカンファレンスを行っている。 <input type="checkbox"/> 併存する可能性のある医学的問題の早期発見に努め、必要に応じて各種検査や他科受診ができる体制を確保している。	
	33 抑制や拘束の禁止の原則が徹底されていますか。	<input type="checkbox"/> 常に、抑制を行わなくても済むような工夫に努めている。 <input type="checkbox"/> 切迫性、非代替性、一時性の3つの要件を満たした上で、最低限の抑制や拘束を行わなければならない場合には、次の点を厳守している。 ・施設サービス計画に明記し、家族等の同意を得た上で行われている。 ・内容についての詳細な記録を残している。 ・なぜ、抑制を行わなければならないかについて、明確に説明することができる。	
4 医学的 管理	34 健康上の必要から、食事に配慮が必要な人に対して、適切な食事が提供されていますか。	<input type="checkbox"/> 栄養士が医療スタッフと連携・調整を行い、個別の疾病に対応している。 <input type="checkbox"/> 歯痛・発熱等の一時的・突発的な状況にも、すぐに応えられるような配慮がされている。 <input type="checkbox"/> 食欲不振時においては、本人の嗜好を最大限考慮した献立を提供している。 <input type="checkbox"/> 褥瘡等のある利用者には栄養面からの治療に向けた配慮をしている。	
	35 利用者の健康状態に関して、利用者や家族にわかりやすく説明し理解を得ていますか。	<input type="checkbox"/> 定期的に医師、看護・介護職員により入所者の病状等について説明されている。 <input type="checkbox"/> 療養内容等の変更にあつては、事前に十分に説明を行い、同意を得ている。	
	36 十分な体位変換は定期的に行われていますか。	<input type="checkbox"/> 体位変換が必要な人が日々確認されている。 <input type="checkbox"/> 時間を決めた体位変換（概ね2時間を基準）を行うようにしている。 <input type="checkbox"/> 個人の日課表に基づいた体位交換とその実施記録が整理されている。	
	37 利用者の睡眠状況、食事摂取の状況、排泄等の状況を把握していますか。	<input type="checkbox"/> 利用者ごとに状況が適切に記録され、看護介護職員等の情報伝達が適時実施されている。	
	38 服薬者に対する与薬管理は適切ですか。	<input type="checkbox"/> 利用者ごとに服薬のチェック、薬歴管理を行い、一括手渡しではなく、服用毎に配布するなど、配慮している。	
39 医師やOT・PT・STの指導のもとに機能訓練サービスを行っていますか。	<input type="checkbox"/> 利用者個々の状態に応じた訓練計画を具体的に作成し、計画的に実施している。 <input type="checkbox"/> 関係職員全員によるケース会議等が少なくとも1ヶ月に1回以上定期的に行われ、各利用者別の評・目標設定・計画についての検討が行われている。 <input type="checkbox"/> 検討経過や結果の記録が整備されている。		

区分	評価基準	チェック項目	判定
4 医 学 的 管 理	40 口腔ケアは適切に行われていますか。	<input type="checkbox"/> 起床、就寝時だけではなく食後など、必要に応じて腔清潔が保たれている。 <input type="checkbox"/> 義歯の手入れなど管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 唇の乾燥を防ぐ配慮をしている。	
	41 内科・外科・精神科・歯科等、協力医療機関と十分な連携がとれ必要な時に適切な措置を講ずるようにしていますか。	<input type="checkbox"/> 内科・外科・精神科等必要な医療機関と、協力契約を交わしている。 <input type="checkbox"/> 歯科と協力契約を交わしている。	
	42 医療機関への入院に関して利用者や家族と相談していますか。	<input type="checkbox"/> 入院に関しては、状況を利用者・家族などに説明し、合意のもとに行っている。 <input type="checkbox"/> 緊急の場合は、事後に担当の専門職員が家族に経過、状況について連絡をしている。	
	43 必要と認めたとき、診察や症例検討などを適切に行っていますか。	<input type="checkbox"/> 検査、投薬、注射、処置等は入所者の症状に照らし適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 施設内で対応が困難な利用者については、施設の医師等と協力病院等の医師とで診察・情報交換・症例検討を行うなど、積極的に対応している。	
	44 他医療機関に往診を求めたり、利用者が通院をする場合は、施設内で対応すべき医療の範囲を越えた特別な場合のみですか。	<input type="checkbox"/> 利用者からの往診や通院希望に対しては、施設内の医師等が適切に対応し相手の医療機関の医師等と十分に連携をとっている。 <input type="checkbox"/> 医療費の支払いについて施設利用中の場合の医療費についての保険請求の可否等を相手の医療機関に知徹底させ、適切な取扱いをしている。	
	45 入退所相談及び入退所検討（判定）には、医師・看護職員、OT、PT、支援相談員等による対応をしていますか。	<input type="checkbox"/> 医療と介護サービスを一体的に提供する施設機能の特質を、全職員に具体的に周知徹底している。 <input type="checkbox"/> 特定の職員の対応ではなく、チームアプローチ態勢が明確化され、あらゆる職種の職員参画のもとに実施している。	
46 在宅復帰の可否検討（判定）を定期的に行っていますか。	<input type="checkbox"/> 利用者の在宅復帰についての可否検討（判定）は、関係職種ของทีม会議の中で定期的を実施し、家庭復帰のため利用者・家族とも積極的に協議してください。 <input type="checkbox"/> 検討には、利用者・家族にもその内容や在宅サービス等を説明してください。		